

令和2年度
第1回
総合教育会議議事録

日時 令和2年7月10日（金）午前10時～

場所 東分庁舎5階 会議室

第1回総合教育会議 議事録

1 日時 令和2年7月10日(金) 午前10時～午前11時10分

2 場所 いわき市役所東分庁舎5階 会議室

3 出席者 いわき市長 清水 敏男
いわき市教育委員会 教育長 吉田 尚
いわき市教育委員会 教育長職務代理者 馬目 順一
いわき市教育委員会 委員 根本 紀太郎
いわき市教育委員会 委員 宮澤 美智子
いわき市教育委員会 委員 小峰 美保子

4 議題 いわき市教育大綱の改定について

資料1	資料2	資料3
-----	-----	-----

5 その他 発言事項なし

【会議内容】

1 開会

2 議題

会議設置要綱第4条の規定により、市長が議長となること、また、同要綱第7条第2項の規定による第1回会議の議事録への署名は、吉田教育長及び小峰委員が行うことを確認した。

(1) いわき市教育大綱の改定について

① 事務局説明

ア 政策企画課企画調整係 米本係長

資料1「いわき市教育大綱の改定について」、資料2「『いわき市教育大綱』に係る新旧対照表」、資料3「『いわき市教育大綱』今年度改定スケジュールについて(予定)」により説明を行った。

② 質疑、意見等

(宮澤委員)

・子どもたちは私たち大人と同じように社会経済も地球環境も不安定な中で生きている。このような時代を生き抜いていくためには、郷土への愛着と誇りを持つことと合わせて、子どもたちが未来に希望を持ち続けることが大切。そのためには、今を生きる私たちが未来のいわき市へ希望を持てる土壌づくりや情報発信、また大綱の理念をつなぎ続けていかななくてはいけないと思う。改定の

際には、「未来へ希望を持ち続けて」というような文言を付け加えてもらいたい。

(小峰委員)

- ・(今ご説明いただいたような)説明がないと、改定の背景などを誰に何を伝えていくのかわかりにくく、変わった箇所、修正箇所も見えづらいので、読み手に伝わるように、前文などを考えてほしい。
- ・方針と説明文がかぶっている所があり、ボリュームが多くなることによって伝わりづらい部分があるので、前文、方針、説明文、取組み例が見やすい、表現の工夫をお願いしたい。
- ・資料1での「学力の質の向上」、「リモート教育」、「リカレント教育」とは何か。

(米本係長)

- ・今回は素案のたたき台ということで、委員の皆様を検証いただいて、総括として前文を整理したうえで、前文と方針と説明文等の整理をしていきたい。
- ・「学力の質」という部分は、国の教育振興基本計画の中で、これまで以上に、質の高い能力を身に着けて、それを磨きながら、一人一人の可能性とチャンスを最大化させることが必要だとされていることから、今までの知識・技能の習得に加え、それを活用して変化が激しい社会を生き抜く力を身に着けるという意味で「学力の質の向上」としたが、教育行政・現場でなじみのない表現であれば、委員の皆様・教育委員会と協議しながら、適切に修正したい。「リモート教育」という表現についても、新型コロナウイルス感染症に伴う「遠隔授業」・「オンライン学習」なども踏まえ、正しい表現についてご助言いただきたい。「リカレント教育」なども、注釈・説明文をつけるなど対応したい。

(小峰委員)

- ・「学力」というと、テストの点数があがればという風にとらえてしまうことが多い。それだけでなく、思考力・判断力、主体的な学びの態度も入るという部分もあるので、誤解がないよう、協議・検討いただきたい。

(根本委員)

- ・毎年の豪雨災害など、地球のメカニズムが変わってきている状況で、どういう暮らしをしていかなければならないのかということ、環境教育という表現も資料にはあるが、学校教育・生涯教育・幼児教育でも伝えていった方がいいと思う。そういった部分を意識させる文言を入れてほしい。

(宮澤委員)

- ・根本委員が言ったような地球環境の変化を学ぶ機会や、持続可能な社会生活を営むための環境教育の機会を、学校教育以外の場でも設けていくべきだと

思う。そういった社会教育の充実を促す表現を付け加えていただきたい。

- ・虐待防止の一つの観点としては、養育能力不足や不適格な保護者等のいるハイリスクな家庭への支援・介入があると思うが、それ以前に、望まない妊娠・出産の回避は大切だと思う。いのちの教育ということで学校教育の中で子どもたちも学んでいることだが、学校を卒業してからも、引き続き相談や情報・知識を共有できる場作り、生涯にわたるいのちの教育は必要なことだと思う。そういったことを「すこやかに生まれ育つ社会的環境の整備」(資料2 7ページ) のところに付け加えられるのならいいのかなと思う。

(馬目委員)

- ・市民にもわかるように、SDGs、CSRなどの難しい言葉などには、脚注をつけてほしい。
- ・「リモート教育」という言葉が表現的に使えるのかと思う。
- ・「すこやかに生まれ育つ社会的環境の整備」(資料2 7ページ) での、「すこやかに生まれる」というのは、出産の際の女性の苦しさを思うとなじまない表現かと思うので、別な表現にしてもらいたい。
- ・「オリンピック・パラリンピック」(資料2 9ページ) という言葉は、現在「オリンピック」が開催するかどうかという荒波の中にいることを踏まえ、世界規模の国際大会などの表現の方がよいのではないか。
- ・「地域文化の発掘・再評価」(資料2 11ページ) ということが、実際に発掘調査をするという意味なのか、資料の掘り起こしという意味なのか、理解が難しい。
- ・「戦略的な情報発信」(資料2 12ページ) で、敵がいて、それに勝つためにはというのが「戦略」なので、「教育大綱」の中で使う言葉かどうか検討してほしい。

(小峰委員)

- ・引きこもりの子どもにも必ず可能性があり、それを伸ばして社会に貢献できれば生きていくことができると思う。学校と地域での教育・連携をしながら、学校卒業後もそういった子ども達をどうしていくかという視点も入れてくれればと思う。

(教育長)

- ・前文について、新総合計画とリンクさせたり、いわき新時代を目指すという言葉を入れたり、新型コロナウイルス感染症も含めた災害が多発するなかで教育をどうしていくか検討したりするなど、しっかりと内容をもんでいくことが重要。
- ・「就学前から高等教育」(資料2 3ページ) という文言について、「高等教育」だと「大学等」となってしまうので、高校生ということであれば整理が必要。

- ・「リモート教育」(資料2)4ページ) というのを義務教育段階に求めると、学校の存在そのものが揺るがされてしまうので、整理が必要。災害時などにしっかりと学習機会を確保できる取り組みが学校の中でできるかというのを、「災害時等の臨時休業等に備えた学習機会の確保」(資料2)4ページ) に集約的に書いたほうがよいと思う。

(馬目委員)

- ・文章の中で、漢字をずっと並べる部分があるので、助詞を入れるなどして、市民にも理解しやすいようにした方がよい。

(根本委員)

- ・資料1中の「人材」と、大綱本文(資料2)の「人財」は統一したほうがよいのではないか。

(市長総括)

- ・現教育大綱のもと、市長部局と教育委員会が連携し、教育先進都市“いわき”の実現に向け、取り組んできた。
- ・改定にあたって、今回いただいた意見をもとに、事務局で内容をもんでほしい。
- ・お気づきの点があれば、次回の総合教育会議の開催は10月中旬を目安にしているので、教育委員会もしくは総合政策部にそれまでに意見をよせてほしい。
- ・教育大綱については、本市の教育の根幹にかかわる大綱であるため、よりよいものにするべく、ご支援・ご協力をお願いしたい。

3 その他

発言事項なし。

4 閉会

【署名】 吉 田 尚
小山峰 美保子